






歯磨剤・洗口剤ガイド①




患者様ごとの口腔状態のリスクに応じた歯磨剤、洗口剤を選択していただき、セルフケア指導にお役立てください。



含嗽剤

歯周病予防

殺菌

配合成分	特徴	製品			
		歯周病リスクが高い方に	歯周病リスクがある方に	歯周病が気になる方に	知覚過敏の症状が気になる方に
		 <p>フッ化物高濃度配合品 1450ppmF 医薬部外品 販売名: システムSP-T ジェルCa</p> <p>P.27 Systema SP-T ジェル</p>	 <p>フッ化物高濃度配合品 1450ppmF 医薬部外品 販売名: システムHPPb</p> <p>P.28 Systema ハグキプラス EX</p>	 <p>医薬部外品 販売名: システムDPα</p> <p>P.29 Systema Dentalpaste α</p>	 <p>フッ化物高濃度配合品 1450ppmF 医薬部外品 販売名: システムセンシティブAa</p> <p>P.31 Systema Sensitive</p>
		<p>研磨剤無配合</p> <p>薬用成分が長くとどまる 高粘性ジェル</p> 	<p>低研磨</p> <p>歯の汚れをしっかりと落とす ソフトペースト</p> 	<p>低研磨</p> <p>口腔内にすばやく広がる ソフトペースト</p> 	<p>低研磨</p> <p>口腔内にすばやく広がる ソフトペースト</p> 
		<p>剤型</p> <p>高粘性ジェル</p>	<p>剤型</p> <p>ソフトペースト</p>	<p>剤型</p> <p>ソフトペースト</p>	<p>剤型</p> <p>ソフトペースト</p>
ホストケア	<p>ビタミンE (酢酸トコフェロール)</p> <p>歯肉の防御力を高める</p>	●	●		
	<p>トラネキサム酸</p> <p>歯肉の炎症・出血を抑える</p>	●	●	●	●
	<p>β-グリチルレチン酸</p> <p>歯肉の炎症を抑える</p>	●			
	<p>イプシロン-アミノカプロン酸</p> <p>歯肉の炎症を抑える</p>				
殺菌	<p>IPMP (イソプロピルメチルフェノール)</p> <p>バイオフィルムに浸透し殺菌、歯肉炎を予防する</p>	●	●	●	●
	<p>CPC (塩化セチルピリジニウム)</p> <p>浮遊性の細菌を殺菌する</p>				●
	<p>ラウロイルサルコシンNa</p> <p>浮遊菌を殺菌して、口臭を防ぐ</p>	●	●	●	
知覚過敏症状予防	<p>硝酸カルウム</p> <p>歯髄神経の興奮を鎮め、刺激の伝達を抑制 (すばやく作用する)</p>				●
	<p>乳酸アルミニウム</p> <p>痛みの伝達経路となる象牙細管を封鎖 (持続的に作用する)</p>				●
う蝕予防	<p>フッ化物 (フッ化ナトリウム、またはモノフルオロリン酸ナトリウム)</p> <p>歯の再石灰化を促進し、う蝕の発生と進行を予防</p>	●	●	●	●
抗炎症	<p>グリチルリチン酸二カルウム</p> <p>口腔内及びのどの殺菌・消毒</p>				●
口臭予防	<p>l-メントール</p> <p>口中に清涼感を与え、口臭除去</p>				

口腔全体のケアに	歯間の集中ケアに
 <p>医薬部外品 液体歯磨 販売名: デント・システムデンタルリンスNa</p> <p>P.38 Systema 薬用デンタルリンス</p> <p>原液タイプ</p>	 <p>医薬部外品 販売名: システムジェルFa</p> <p>P.30 Systema 薬用歯間ジェル</p> <p>研磨剤無配合</p> <p>唾液と反応してゲル化する ソフトジェル</p> 
うすめずにそのまま使用	
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●
●	●

口腔内の殺菌に
 <p>指定医薬部外品 販売名: ピラウがい薬-P 効能・効果: 口腔内及びのどの殺菌・消毒・洗浄口臭の除去</p> <p>P.37 Systema SP-T メディカルガール</p> <p>希釈タイプ</p> <p>水100mLに本品6~10滴を滴下</p> 
●
●
●
●
●
●
●
●
●
●
●

歯周病は歯肉炎、歯周炎の総称です。●フッ化物高濃度配合品 (1450ppmF) の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない場所に保管してください。
※1 本表の歯磨剤4アイテム中。

歯磨剤・洗口剤ガイド②

効果的なう蝕予防には、年齢・口腔内の状況・生活習慣等に合わせたきめ細かな対応が必要です。年齢とう蝕リスクに応じた適切なフッ化物製剤を選択していただき、効果的な使い方のポイントもお伝えください。

う蝕ケア

毎食後の歯みがきに

ソフトペースト



低研磨

ジェル



研磨剤無配合

泡



研磨剤無配合

すすぎが簡単なので乳幼児や高齢者に

P.32

Check-Up standard
医薬部外品



マイルドビュアミント
マイルドシトラスミント
フッ化ナトリウム 1450ppmF

P.34

Check-Up kodomo
Check-Up kodomo 500
医薬部外品



ストロベリー
アップル
グレープ
ぶどう
マイルドミント
フッ化ナトリウム950ppmF
フッ化ナトリウム500ppmF
フッ化ナトリウム 1450ppmF

Check-Up rootcare α
医薬部外品



マイルドミント
フッ化ナトリウム 1450ppmF

P.35

Check-Up foam
医薬部外品



フッ化ナトリウム950ppmF

就寝前のフッ素トリートメントに

ジェル



研磨剤無配合

P.35

Check-Up gel
医薬部外品



バナナ
ピーチ
グレープ
レモンティー
ミント
フッ化ナトリウム500ppmF
フッ化ナトリウム950ppmF
フッ化ナトリウム 1450ppmF
殺菌成分CPC[®]配合
※塩化セチルピリジニウム

特にう蝕リスクの高い方に

液



P.39

フッ化ナトリウム
洗口液0.1%
【ライオン】
医療用医薬品



フッ化ナトリウム450ppmF
毎日の洗口に適しています。

〈効果的な使い方のポイント〉

適量を使用する

1回の適正使用量は年齢によって異なります。

6カ月～2歳
(歯の萌出)



3～5歳



6～14歳



15歳以上



使用後の漱口量を少なくする

歯みがき後の漱口量は、約15mlの水で1回(5秒間程度)の少量漱口が推奨されています。

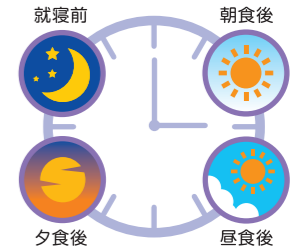
〈15mlの目安〉



大きじ1杯分
ペットボトルキャップ
約2杯分

1日の使用回数を多くする

朝・昼・夕食後の歯みがき、就寝前のジェルまたは洗口剤の使用をおすすめします。



〈年齢・う蝕リスク別の製剤組合せチャート〉

う蝕リスク	～5歳 (乳幼児期)		6～14歳 (学齢期)		15歳～高齢期				要介護者など
	毎食後	就寝前	毎食後	就寝前	根面露出なし		根面露出あり		
高	毎食後 kodomo 500ppmF	就寝前 foam 950ppmF or gel 500ppmF	毎食後 kodomo 950ppmF	就寝前 フッ化ナトリウム 洗口液0.1% 【ライオン】 450ppmF	毎食後 standard 1450ppmF	就寝前 フッ化ナトリウム 洗口液0.1% 【ライオン】 450ppmF	毎食後 rootcare α 1450ppmF	就寝前 フッ化ナトリウム 洗口液0.1% 【ライオン】 450ppmF	毎食後 foam 950ppmF
中	毎食後 kodomo 500ppmF	就寝前 foam 950ppmF or gel 500ppmF	毎食後 kodomo 950ppmF	就寝前 gel (ピーチ・グレープ・ レモンティー) 950ppmF	毎食後 standard 1450ppmF	就寝前 gel (ミント) 1450ppmF	毎食後 rootcare α 1450ppmF	就寝前 rootcare α 1450ppmF	毎食後 foam 950ppmF
低	毎食後 kodomo 500ppmF	就寝前 kodomo 950ppmF	毎食後 kodomo 950ppmF	就寝前 kodomo 950ppmF	毎食後 standard 1450ppmF	就寝前 standard 1450ppmF	毎食後 rootcare α 1450ppmF	就寝前 rootcare α 1450ppmF	毎食後 foam 950ppmF

ご注意

- 発疹などの異常が現れたときは使用を中止し、商品を持参して医師に相談してください。
- 歯科医師・歯科衛生士の指導のもとにお使いください。
- ※食物や薬などによりアレルギー様症状を起こしたことがあるお子様や喘息のお子様は特に注意してください。

- フッ化物高濃度配合品(1450ppmF)の6才未満への使用は控え、子供の手の届かない場所に保管してください。
 - ※1 1日1回食後または就寝前に漱口してください。その他用法及び用量、使用上の注意などについては、添付文書をご覧ください。
 - ※2 うがいが苦手な乳幼児や高齢者はfoamをご使用ください。
- 【参考文献】日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会編：う蝕予防の実際。フッ化物局所応用実施マニュアル：社会保険研究所、2017。年齢に応じたフッ化物応用について改変引用